

世帯と人口
(平成3年11月1日)

世帯	36,288 (+108)
人口	108,070人 (+166)
男	55,706人
女	52,364人

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎(0462) 31・2111

歳末は「心の用心」を

今年も残すところ一カ月あまり、一年の締めくくりにいうことで、年の瀬は何かと気ぜわしくなり、ともしれば忘れがちなのが、戸締まりや火の始末です。また、犯罪や事故に対する警戒心も薄れがちになります。そこで、市や警察では、十二月二十日から来年一月三日までの間、犯罪や事故の防止のため「年末年始特別警戒」なるを行なうほか、飲酒運転・無謀運転の追放のための「交通事故防止運動」また、年末の火災予防として、「歳末火災特別警戒」などを併せて、同時期に行います。みなさん犯罪や事故の防止、火の始末などに心掛け、家族を助けて楽しいお正月を迎えてください。

戸締まりを忘れずに

12月20日から1月3日まで

年末年始の特別警戒

年末年始は外出の機会が多く、忘れ、泥棒に入られるケースもありますが、うっかり戸締まりを忘れて、泥棒に入られるケースも多くなります。外出するときは、たとえ短い時間でも、必ずカギをかける習慣をつけたり、お隣と留守の頼み合いをしてください。



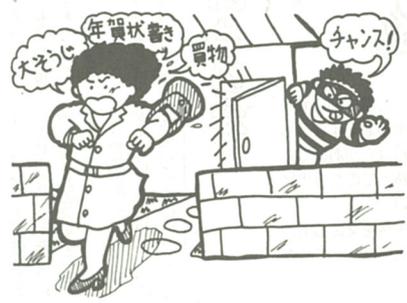
歳末の住宅街を警ら中の警察官

① 買い物かごなどに財布を入れるときは、外から見えないようにしてください。また、ハンドバッグなどは、無造作に手に下げたり、肩にかけないようしましょう。

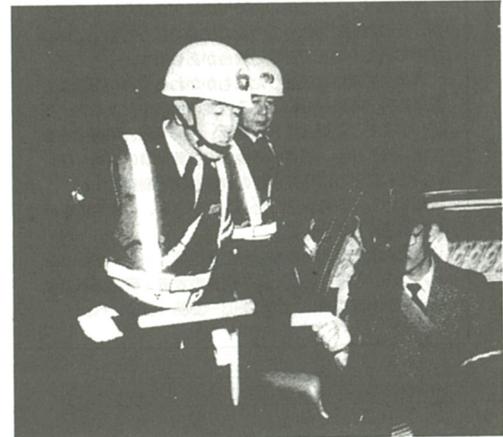
② 大金と小銭は別々に携帯し、持ち歩くときは、車を利用するが、二人以上で行くようにしましょう。また、混み合う乗り物では、乗降口付近での盗難が最も多いので注意しましょう。

③ 人通りの少ない道、街灯のない暗い夜道は避け、不審な人やオートバイ、自転車などが近寄ってきたときは、十分に注意しましょう。

④ 防犯ブザーを持ち歩きましょう。万一、被害に遭ったら「ドロボー」など、大きな声を出して助けを求めてください。また、すぐに110番してちょうだい。



しよ。つ。



飲酒運転防止にご協力を

12月11日から20日まで 年末の交通事故防止運動

十二月は忘年会など、飲酒の機会が多くなり、毎年飲酒運転による交通事故が多くなっています。十二月は忘年会など、飲酒の機会が多くなり、毎年飲酒運転による交通事故が多くなっています。

事故の八倍と言われています。

違法駐車、追放です。この期間中、市内の主要交差点で交通指導などが立哨を行なうほか、交通指導車による巡回広報を行い、交通事故の防止を運転者や歩行者に呼びかけますので、ご協力をお願いします。



一杯が一生の後悔

ちょっとした悲惨な事故を防ぐため、海老名市交通安全対策協議会では、十二月十一日から二十日まで、年末の交通事故防止運動を実施します。この運動期間中の重点項目は、①飲酒運転・無謀運転(若年運転者の暴走運転)の追放②

一瞬の油断が火災に

12月25日から31日まで 歳末火災特別警戒を実施



年末は、おせち料理作りや暖房など火気を使用する機会が多くなります。忙しさから火の取り扱いがおろそかになり、火災が多く発生するもの。この時期です。どうか、火の取り扱いには十分注意を払ってください。市消防署・市消防団では、十二月二十五日から三十一日まで、歳末火災特別警戒を実施します。この期間中、市消防署や市内の各分団では、受け持ち地域内の巡回広報を行います。また、「歳末火災特別警戒」をお知らせするため、二十五日(水)午後八時に、市内の消防施設で、一斉にサイレンを吹鳴します。火災と間違えないようにお願いします。



人気の会場には長蛇の列が...

今年のアトラクションは内容充実の感があり、我が家の子供たちもジェットマンやヒーロー軍団に満足していました。場内の各テントもみな好評で、多くの人たちにぎわっていましたが、例年のことですが、各テントをのぞいて回ると、通路を占有している長蛇の列が支障となつていているのが気になります。

多彩な催しや展示を満喫

竹取物語の語り読みにも感動

市民文化祭

出来上がり

です。胸につけてもらって、気合の入った音道、丹精された盆歌を見て、二階、三階へ、華道

十一月三日、四日の三日間、市文化会館を会場に「市民文化祭」が行われ、約二万五千人が来場しました。また、十一月には市役所を会場に「産業まつり」が開催され、約十万人の来場者でにぎわいました。この二つの催しの様子も、広報七二の一の山本展子さんと横手洋一郎さんに取材していただきます。



今年、文化祭は、久方振りの晴れの良いお天気に恵まれ、食生活の所では、海老名の祭り、文化館に入ると、すくに中央農業高校のみなさんによる、フラダンス、デザインの教室がありました。十分足らずで、サージュの出来上がり

多数の市民でにぎわう

祭りの企画には一考を

産業まつり

今年の「アトラクション」は内容充実の感があり、我が家の子供たちもジェットマンやヒーロー軍団に満足していました。場内の各テントもみな好評で、多くの人たちにぎわっていましたが、例年のことですが、各テントをのぞいて回ると、通路を占有している長蛇の列が支障となつていているのが気になります。



すばらしい出来栄の作品群に感嘆

また、例年のことですが、各テントをのぞいて回ると、通路を占有している長蛇の列が支障となつていているのが気になります。

海老名むかしむかし
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
11月20日～12月3日 第102話 海老名の名木
12月4日～12月17日 第103話 昔が低くつたお婆さん



国分村と陰徳講

第269話
いんてくこう



国分村の領主 堀田正睦

江戸時代の中ごろ、これまで四十五年間わたって小田原藩領であった国分村は、宝暦十年(一七六〇年)佐倉藩主堀田正亮の所領すべしとなり、以後藩主は正睦、正時、正徳、正倫と続き、明治維新に至るまで、百余年間一貫して佐倉藩の支配を受けたのである。

これら歴代領主のうち国分の龍峰寺に宿泊したこともある正睦は、老中として内外多事の難局に当たり、内にあっては藩政の改革に力を尽くした人物である。その藩政改革の重点の一つに勤農政策があった。そのうちのひとつは、勤農掛や在中取締の役を設けたことである。

勤農掛というのは藩の農政に関する方策を領内に徹底させるための役職で、天保七年(一八三六年)下級武士から十人が選ばれて任命された。さらに村方にはその下に勤農役が置かれた。この役は村内の上、中層の農民より選ばれたが、国分村についてはわかたない。

翌年六月には在中取締が三人任命された。前年勤農掛を命ぜられた者の中からである。このような新しい地方職制の網を張るのによつて、農村支配を強化し生産力を高めようとしたのである。

勤農政策の中にはまた、子育て奨励策があった。これは生産力を行う人口が次第に減少していくことへの対応であり、農業生産を維持することこそは財政逼迫の佐倉藩にとって重要課題だったのである。

そこで天保九年三月、藩の正式の組織として、陰徳講というものを作つた。その組織と機能の詳細は不明であるが、「富者が子を産んだら賞者に施す」という社会福祉的性格を強く持ったものだった。

堀田正睦の「子育て教諭書」が

「在中にて胎中の子をおろし、うぶの子をつぶす事有り、おのが命をとらるるまでも、子をばはわれしとするものなるに、ましてや人としての子をわめなき事はあるまじしなれど、全田畑のせきぎのさまたげをいとい、貧しきにかまけてのむさなるべし。まればに子なき人いか程ほしく思ひても、金銭にてかわれぬもの世、それに親の手づから殺すと、鳥けたものにもおとりたるむさにて、石塚の事いたす人は、神仏も深くにくみたまは、天の咎もまたあたりにて、其家によき事は来らず、終にはますますんききふするなり、此道理をよくきまへ、此後我等領内に子をころしつぶす事、決りてたすましく候」

堀田正睦(池田 武池)